

氏名 岡 信 孝 治

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 博 乙 第 2264 号

学 位 授 与 の 日 付 平 成 3 年 3 月 28 日

学 位 授 与 の 要 件 博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）

学 位 論 文 題 目 食道のリンパ流—SPECT を併用した RI-Lymphography による
検討—

論 文 審 査 委 員 教授 寺本 滋 教授 平木祥夫 教授 村上宅郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

胸部食道癌の合理的リンパ節郭清の一助とすべく経内視鏡的 RI-Lymphography を31例に施行した。うち19例に Single Photon Emission Computed Tomography (SPECT) を応用した画像解析をおこない胸部食道リンパ流を三次元的に把握することに成功した。胸部食道のリンパ流はいずれの部位においても頸部、胸部、腹部の三領域に移行するが、Iu 部では上方向流が、また Ei 部では下方向流が主体であり、しかも壁在リンパ流のブロックにより大きく影響されることが示された。さらに現行の食道癌取扱い規約における第 1 群リンパ節については必ずしも第 1 群リンパ節としての性格を持たず分類法に問題点が存在していることが指摘された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、経内視鏡的 RI-Lymphography を行い、Single Photon Emission Computed Tomography を応用した画像解析を行い、胸部食道リンパ流に検討を加えた結果、重大な知見を得たものであって、食道癌治療上価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。